

塩化ビニル樹脂

PVC

(Polyvinyl Chloride Resin)

別名	PVC、ポリ塩化ビニル、ポリビニルクロライド					
概要	<p>PVCは塩素及びエチレンの合成により得られる塩化ビニルモノマー (VCM) を重合した熱可塑性プラスチックで、一般的に軟質成形用と硬質成形用に分けられ、加工が容易であり、他のプラスチックに比べてコストが安いため、世界的に普及している。</p> <p>製品は、原料プラスチックに安定剤、可塑剤、着色剤などの各種添加剤を加えて混練し、カレンダー、押出、射出などの加工法を適用して製造される。添加剤の添加混練は成形加工工場で行うのが一般的であるが、あらかじめ添加剤を配合したコンパウンドでも出荷される。</p>					
原料	塩化ビニルモノマー					
製法	懸濁重合、乳化重合、溶液重合、塊状重合。					
荷姿	ローリー車、フレキシブルコンテナ (500, 1,000kg)、紙袋 (20, 25kg)					
規格	JIS K 6720-1-99 (1060-1-98)、K 6720-2-99 (1060-2-98)、K6723-06、K6732-96など					
性状	<p>塩化ビニル樹脂は一般的に比重約1.4、見かけ比重0.4～0.7の白色粉末で、耐水性、耐酸性、耐アルカリ性、電気絶縁性が良く、無毒、難燃性である。</p> <p>加熱すると、65～85℃で軟化し、120～150℃で完全に可塑性となり、170℃以上では熔融、190℃以上になると、はげしく塩酸を放出しながら分解をはじめると、熱および光に比較的弱いので、適当な安定剤、可塑剤等を添加加工する。</p>					
成形加工法	押出、射出、カレンダー、インフレーション					
用途	平板、硬質フィルムシート、波板、パイプ、断手、異型押出品、ブロー成形品、農ビ、軟質フィルムシート、レザー、軟質押出品、電線、床材、繊維。					
製造・販売業者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <樹脂・コンパウンド> カネカ サン・アロー化成 昭和化成工業 信越化学工業 信越ポリマー </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> 徳山積水工業 新第一塩ビ 太陽塩ビ プラス・テク 三菱化学 </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> リケンテクノス </td> </tr> </table>			<樹脂・コンパウンド> カネカ サン・アロー化成 昭和化成工業 信越化学工業 信越ポリマー	徳山積水工業 新第一塩ビ 太陽塩ビ プラス・テク 三菱化学	リケンテクノス
<樹脂・コンパウンド> カネカ サン・アロー化成 昭和化成工業 信越化学工業 信越ポリマー	徳山積水工業 新第一塩ビ 太陽塩ビ プラス・テク 三菱化学	リケンテクノス				
備考	既存化学物質 輸出(入)統計品番号	(6)-66 3904.10 (3904.10)	CAS No. 9002-86-2			